

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	一般小売店 [靴・袋物] (経営者)	単価の動き	・値段が高めでも、良い物であればじっくり検討して買う客がイベントを通して見られる。
		衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・前年と比べて、時期的な商品の単価が上がってきている。
		観光型ホテル (商品企画担当)	販売量の動き	・大手旅行会社の商品も10月までは夏商品として展開が主流となり、当ホテルも夏から引き続き好調さを保っている。
		観光型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・客層としては景気回復に伴う企業の慰安旅行が増えている。
	変わらない	一般小売店 [衣料品・雑貨] (経営者)	販売量の動き	・来客数は前年同月比85%で売上高は82%と減少している。10月から2月の例年売上高は減少しているが、更に前年同月比が下がっている状況が続いているため、経営的にも厳しい状況になっている。今後も改善状況が見込めない。
		コンビニ(エリア担当)	お客様の様子	・客の購買意欲は停滞しており、必要な物以外は値ごろ感がある商品でも、よほどでない限り買わない。とにかく安く買っただけで商品に価値観を求めているようには見えない。
		観光型ホテル (営業担当)	来客数の動き	・要因として修学旅行客、個人客の増加がある。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・施設利用者は、3か月前の平成19年7月は前年同月比で109.2%であった。今月は10月25日現在で109.6%と同程度の伸びになっている。沖縄への入域観光客数は順調に推移している。来園者は、一般団体、修学旅行、家族連れ、カップル等が中心だが、特に今月は一般団体と修学旅行が目立っている。
	やや悪くなっている	百貨店(担当者)	単価の動き	・10月は高い気温に苦戦している。衣料の動向が厳しく、ジャケットや羽織物の売上は、部門によっては前年比30%減と厳しいところもある。ただしロングブーツは辛うじて前年並みを維持していることから、天候が戻れば売上は回復する。ただし天候与件も含めたものが不明であるが、来客数も減少傾向であることから悪化傾向と判断する。店舗計においては10月は前年比2%減の見込みである。
コンビニ(経営者)		販売量の動き	・節約して買物をしていく客が多く目立つようになっている。	
衣料専門店(経営者)		来客数の動き	・沖縄は今がちょうど季節の変わり目なので、何を買っていくのかわからない客が多くみられる。周りのトレンド(流行)などの様子を伺いながら買物も慎重になっている。	
家電量販店(従業員)		販売量の動き	・全体の数字そのものは順調で前年並みに見えるが、来客数は増加で購入単価は減少している状況はあまり好調とはいえない。	
その他専門店 [楽器](経営者)		販売量の動き	・同業者が増加しており、商品供給も増加している。輸入品販売店の安売りや外国製品の増加、雑な粗悪品が出回ることによる価格破壊、イメージの悪化の影響で売上が減少、衰退して在庫が増加しており厳しい状況になっている。	
その他飲食[居酒屋](経営者)		来客数の動き	・観光客が一段落している。地元客も週末集中型で、平日の来客数が例年より20%減少している。平日の遅い時間はほとんど入客が無い状態が続いている。	
悪くなっている	-	-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	会計事務所(所長)	受注量や販売量の動き	・保険契約の増加が鈍化している。携帯関係の契約数も横ばいである。

	やや悪くなっている	輸送業（営業・運営担当）	取引先の様子	・原油価格高騰によるメーカーの製造コスト増の影響で物流費削減の風当たりが強くなっている。卸問屋系も物流コストを安く見積もる物流会社へと流れていく傾向があり、余儀なく単価調整をせざるを得ない場合もある。
	悪くなっている	コピーサービス業（代表者）	受注量や販売量の動き	・パソコンや事務機器はどこにもあるので、多少の印刷物は、若い社員がいる会社なら簡単なチラシや少量のパンフ等は自社で間に合わせる時代である。印刷の専門に回ってくる仕事は、高度な物が、あるいは大量の物である。しかし、高度な印刷や、大量に発注するユーザーも少なくなっている。いまだに仕事より業者が多い。10月の売上状況も9月と何ら変わらない。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・県内の中小企業に学卒採用の危機感が募っており、採用活動が活発になっている。
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新卒向け求人の中でもIT関連の求人は順調であるが、それ以外の業界に関しては顕著な増加はみられない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求職者数の動き	・求職者の動きが鈍い。
	悪くなっている	-	-	-